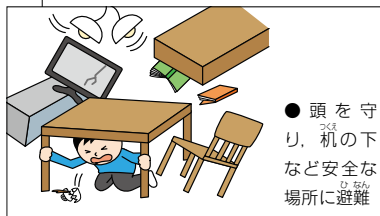
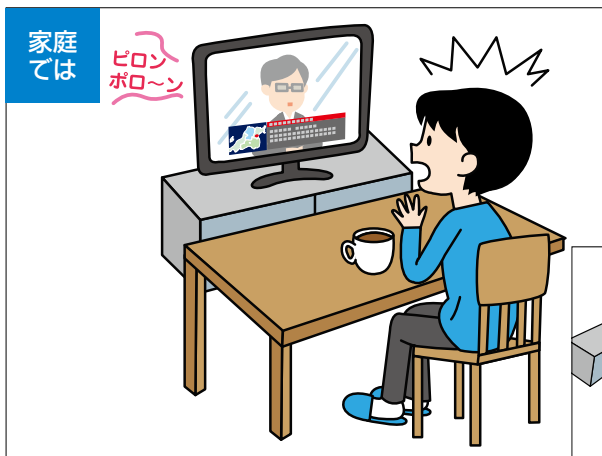


緊急地震速報を見たり聞いたりしたとき、どのように行動すればよいのでしょうか。

緊急地震速報……地震による強い揺れを事前（揺れる前）に知らせるための情報です。予想される最大震度が5弱以上のときに、震度4以上の強い揺れが予想される地域に伝えられます。テレビ・ラジオ・携帯電話・スマートフォンや受信システムを設置している施設で発表されます。

知って
おこう

緊急地震速報を見たり聞いたりしたら、下のような行動をとり、身を守りましょう。



参考：気象庁「緊急地震速報」パンフレット内資料を加工して作成

防災
知識

震度と揺れなどの状況

震度4

- 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
- 座りの悪い置物が、倒れることがある。

震度5弱

- 棚にある食器類や本が落ちることがある。
- 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

震度5強

- 固定していない家具が倒れることがある。
- 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度6弱

耐震性が低い

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

震度6強

耐震性が低い

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。

震度7

耐震性が低い

- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

参考：気象庁ホームページ「図・震度と揺れ等の状況（概要）」を加工して作成

震源が近い場合は、緊急地震速報と同時に揺れたり、揺れのほうが早かったりする場合があります。揺れを感じたら、あわてず、まず身の安全を確保しましょう！